

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
244133097	専門実践実習(疾病治療・重症化予防) Training of professional (Clinical Nutrition)	平井・田中・林			1	選択必修	3通年
科目の概要							
この科目は、管理栄養士として必要な専門的な知識・技能を活用しながら、社会的に自立して生きていく力を養うことを目的とする (DP3)。四大精神・社会人基礎力・pisa型学力・直観力・自然体を統合的に活用しながら、自ら課題を発見し、解決に向けて進める (DP1・2・5)。この過程で学びを深めていくとともに、自己の潜在能力を開発し、職場や地域・国際社会の課題解決に貢献する姿勢を養う (DP6)。また、本科目では産学連携を通じた実践的な学びを重視し、学生自身が主体となって人々の日常生活を健康の面から支援する計画を立て、実施し、その成果を発表する (DP3)。これにより、管理栄養士としての実践力を高め、社会で求められる総合的な力を身につける。							
学修内容				到達目標			
① 社会人基礎力を使って、現状分析、連携先のニーズの把握を行う。 ② 企画案を立てる上でテーマ、連携先の意向、ヒト・モノ・カネの動きを踏まえてまとめる。 ③ 連携先との話し合いの中で、立案した企画案をより実践可能なものへ修正後、実施する。 ④ 自身の社会人基礎力の成長を発表し、情報を共有しながら今後の自己成長に繋げる。				① 社会人基礎力を使って、現状分析、連携先のニーズの把握ができる。 ② 企画案を立てる上でテーマ、連携先の意向、ヒト・モノ・カネの動きを踏まえることができる。 ③ 連携先との話し合いの中で、立案した企画案をより実践可能なものへ修正後、実施できる。 ④ 自身の社会人基礎力の成長を発表し、情報を共有しながら今後の自己成長に繋げることができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	主体性を持ちながら、連携先のニーズに沿った企画を立案することができる。					
	働きかけ力	計画した内容をグループ内で働きかけ、協力できる。					
	実行力	立案した計画内容を実行することができる。					
考え抜く力	課題発見力	現状の課題発見から、企画を随時修正することができる。					
	計画力	自ら計画的に活動し、企画を実践することができる。					
	創造力	創造力を発揮し、企画を工夫しながら展開できる。					
チームで働く力	発信力	産学連携先に情報を発信し、双方向のやりとりができる。					
	傾聴力	傾聴力を発揮しながら、総合的な学びに繋げることができる。					
	柔軟性	様々な問題に対し柔軟性を発揮し、物事に対応することができる。					
	状況把握力	状況把握しながら、臨機応変に計画を修正することができる。					
	規律性	規律を保ち、企画を実践することができる。					
	ストレスコントロール力	ストレスの状況においても、新たな視点で発想の転換ができる。					
テキスト及び参考文献							
特になし							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：臨床栄養学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、臨床栄養学実習、栄養評価管理実習 資格との関連：管理栄養士、栄養士							
学修上の助言				受講生とのルール			
学外活動の参加もあるため、自ら考え臨機応変に参加すること。また、社会人基礎力を発揮しながら、自己成長に繋がる活動を作り上げていくこと。社会状況に応じてオンライン授業に切り替えることがある。				産学連携先との意見交換から、実践可能な企画の立案や活動ができるように、グループで協力してこの授業に参加すること。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
				④			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
		レポート		10	①	✓	
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		80	①	✓	
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
グループ内でリーダーシップをとり、企画を実践できる。さらに学外の活動において社会人基礎力が総合的に優れている者をS(秀)標準的なレベルで優れている者をA(優)とする。	企画を実施する上で情報共有しながら、グループ内で協力し活動が実践できる者をB(良)とする。十分ではないが、課題を提出し、活動に参加できた者をC(可)とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 健康に関するイベント活動の全体計画を立てる 健康に関する栄養相談を行う計画を立てる (林40分、平井55分、田中40分)	講義 グループワーク	グループ内で協力し、本実習の目的と全体計画を理解することができる。	(予習) google classroom内の資料を確認しておくことを推奨する。 (復習) 本時のまとめをすることを推奨する。		主体性 課題発見力 計画力 傾聴力
2	産学連携先の情報収集と現状把握 (林45分、平井40分、田中40分)	講義 グループワーク	グループ内で協力し、話し合いを通してメインテーマを設定することができる。	(予習) 関連項目について調べておくことを推奨する。 (復習) 本時のまとめをすることを推奨する。		主体性 課題発見力 計画力 傾聴力 状況把握力
3	健康増進活動の企画の検討①-1 (平井135分)	講義 グループワーク	グループ内で協力し、企画案を検討することができる。	(予習) 関連項目について調べておくことを推奨する。 (復習) 本時のまとめをすることを推奨する。		主体性 働きかけ力 課題発見力 計画力 創造力 柔軟性
4	健康増進活動の企画の検討①-2 (平井135分)	講義 グループワーク	グループ内で協力して企画を立案し、プレゼンテーション準備を進めることができる。	(予習) 関連項目について調べておくことを推奨する。 (復習) 本時のまとめをすることを推奨する。		主体性 働きかけ力 計画力 創造力 発信力 傾聴力
5	健康増進活動の計画と実施 I 健康増進活動の企画をプレゼンし、連携先と検討する。 (林30分、平井75分、田中30分)	実習	連携先に健康増進活動の企画を説明し、意見交換を行うことができる。	(予習) 発表内容を整理しておくことを推奨する。 (復習) 連携先および教員からの助言を整理することを推奨する。		主体性 実行力 発信力 傾聴力 状況把握力
6	健康増進活動の企画案の修正②-1 連携先および教員からのフィードバックを基に、企画の改善案を検討する。 (林135分)	講義 グループワーク	グループ内で協力して健康増進活動の企画を修正し、プレゼンテーション資料の作成に向けた準備を進めることができる。	(予習) 改善点を整理しておくことを推奨する。 (復習) 本時のまとめをすることを推奨する。		主体性 働きかけ力 課題発見力 計画力 柔軟性 状況把握力
7	健康増進活動の企画の修正②-2 連携先および教員からのフィードバックを基に、企画の改善案を検討する。 (林135分)	講義 グループワーク	グループ内で協力して健康増進活動の企画を修正し、プレゼンテーション資料の作成に向けた準備を進めることができる。	(予習) 改善点を整理しておくことを推奨する。 (復習) 本時のまとめをすることを推奨する。		主体性 働きかけ力 課題発見力 計画力 柔軟性
8	健康増進活動の計画と実施 II 健康増進活動の企画をプレゼンし、連携先と検討する。 (林75分、平井30分、田中30分)	実習	連携先に健康増進活動の企画を説明し、意見交換を行うことができる。	(予習) 発表内容を整理しておくことを推奨する。 (復習) 連携先および教員からの助言を整理することを推奨する。		主体性 実行力 発信力 傾聴力 状況把握力 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	健康増進活動のイベントの準備③-1 連携先および教員からのフィードバックを基に、企画の改善案を検討する。 (田中135分)	講義 グループワーク	グループ内で協力し、イベント実施に向けた具体的な準備計画を立てることができる。	(予習) 改善点を整理しておくことを推奨する。 (復習) 本時のまとめをすることを推奨する。		主体性 働きかけ力 計画力 創造力 状況把握力
10	健康増進活動のイベントの準備③-2 連携先および教員からのフィードバックを基に、企画の改善案を検討する。 (田中135分)	演習 グループディスカッション	グループ内で協力し、イベント実施に向けた具体的な準備計画を立てることができる。	(予習) 改善点を整理しておくことを推奨する。 (復習) 本時のまとめをすることを推奨する。		主体性 課題発見力 計画力 状況把握力 規律性
11	発表の準備(個人)④-1 (林30分、平井30分、田中75分)	演習 グループディスカッション	本実習で得た社会人基礎力の成果を、個人でまとめることができる。	(予習) 学外活動を振り返る準備しておくことを推奨する。 (復習) 本時のまとめをすることを推奨する。		主体性 課題発見力 発信力 規律性 ストレスコントロール力
12	発表の準備(グループ)④-2 (林40分、平井40分、田中55分)	演習 グループディスカッション	グループ内で協力し、本実習で得た社会人基礎力の成果をまとめることができる。	(予習) 学外活動を振り返る準備しておくことを推奨する。 (復習) 本時のまとめをすることを推奨する。		主体性 働きかけ力 発信力 傾聴力 規律性
13	健康増進活動に関するイベントに参加する (林55分、平井40分、田中40分)	実習	グループ内で協力し、イベントを実践する。	(予習) 学外活動の内容を確認しておくことを推奨する。 (復習) 学外活動を通じて、成長した社会人基礎力をまとめることを推奨する。		主体性 実行力 発信力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
14	健康増進活動に関するイベントに参加する (林40分、平井40分、田中55分)	実習	グループ内で協力し、イベントを実践する。	(予習) 学外活動の内容を確認しておくことを推奨する。 (復習) 学外活動を通じて、成長した社会人基礎力をまとめることを推奨する。		主体性 実行力 発信力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
15	まとめを行う (林40分、平井55分、田中40分)	発表	本実習で得た社会人基礎力の成果を発表することができる。	(予習) 発表の練習をしておくことを推奨する。 (復習) 発表内容を振り返りをすることを推奨する。		主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力